



写真提供: 佐伯泰英事務所

十六年目に思うこと

佐伯通信

2013年3月(平成25)
第15号
発行
佐伯泰英事務所
担当/光文社
禁・無断転載

時代小説を書き始めて十六年目、二百冊が来春には達成できそうな感じだ。五十六、七歳からの時代小説参戦と考えれば「無事これ才能」と自画自賛したくなる。ただし量産した数だけの話、内容を問われれば「……」と沈黙するのみ。

いずれかの時期に全作の手を入れたいと思う。これまで上梓したシリーズを、編集者や校閲の助けを借りて新たに直したものは新潮社の『古着屋総兵衛影始末』決定版全十一巻だけだ。むろん新装版は表紙などを変えて出したことはある。だが、シリーズ全巻を精読通読し、手直したものは、『古着屋』が初めてだった。その折、不安がなかったかといえは嘘になろう。初版から十年余も過ぎ、小説は古びていないか、物語

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

6月 14日発売予定	5月 28日発売予定	4月 12日発売予定
『徒然ノ冬』 43	『新・古着屋総兵衛 6』 6 『転び者』 6 『双葉文庫』 『居眠り磐音 江戸双紙』 43	『再会』 18 『鎌倉河岸捕物控 22』 22 『よつ、十一代目!』 11

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2013年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと六回発行いたします。
(株)光文社、(株)新潮社、(株)冬舎、(株)講談社、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社

夏目影二郎始末旅 ついに「狩りシリーズ」、完結へ! ~決定版怒濤の12カ月連続刊行、そして最終巻へ~

松岡 俊
「吉原裏同心」シリーズ最新刊「無宿」をお読みいただきましてありがとうございます。

光文社文庫ではこれまで、佐伯泰英先生の作品を2シリーズ刊行してきました。御免色里の「裏同心」、こと神守幹次郎が活躍する「吉原裏同心」、そして、鏡新明智流の達人・夏目影二郎が悪に立ち向かう「夏目影二郎始末旅」(以下、「狩りシリーズ」)シリーズです。

2シリーズを預らせていただくことは、大変光栄なことであると同時に難しいことでもあります。どちらの読者さんからも「佐伯先生にこちらのシリーズを多く書いてもらえないものか」というご要望をいただきます。一時は一冊ごとの交代で順番に刊行をしていましたが、ここ数年は「吉原裏同心」を主に刊行してきました。

このたび、2013年の10月より「狩りシリーズ」の決定版を新たに1巻目の『八州狩り』から毎月連続刊行することを佐伯先生と相談の上、決定しました。そして、来年2014年10月には、「狩り」の最終巻(第15巻)がついに刊行させることとなりました。決定版では、さらに活字が大きく読みやすくなるとともに、佐伯先生に新たに手を加えていただきます。さらに、各巻の巻末に特別付録として「佐伯泰英外伝(仮)」を掲載する予定です。決定版の14巻「獎金狩り」でその外伝は完結する予定です。

佐伯先生の手によって新たに「狩りシリーズ」をお楽しみいただける幸いです。

今後も、光文社文庫をよろしく願っています。

光文社文庫の佐伯泰英2大シリーズ

『吉原裏同心』
第一巻~第十八巻

『夏目影二郎始末旅』
第一巻~第十四巻

が現在の読者感覚に合わなくなっているのでは……大いに案じたが、意外と感覚のずれは生じていなかった。現代ものと異なり、時代小説は描写や表現が古びることは少ない。有難いことに『古着屋総兵衛影始末』十一巻には新たな読者を得て、売上累計百万部近くを数えている。

このたび機会を得て、光文社の狩りシリーズ(夏目影二郎始末旅(全十四巻))を、同じく手を加えて新たに最終巻を書き足し、全十五巻

決定版を編む企画が進行している。二年がかりのプロジェクトになろうと思う。第一巻初版は二〇〇〇年四月、『古着屋』とほぼ同じ頃だ。十三年の時を経て手直しがどこまで可能か。これまで以上に体調に気を遣い、一冊一冊クリアして読者諸氏にご健康でありますように祈念しております。

『ハルキ文庫』 悲愁の剣

好評発売中!
長崎絵師通吏辰次郎
初期時代長篇の傑作が、文字の大きくなった新装版で刊行!
全国の書店にてお求めください。

『ハルキ文庫』 連続ドラマ化、決定!

『酔いどれ小籾次留書』シリーズの連続ドラマ化が決まりました。ご期待ください。
『NHKBSPレミアムで6月スタート!』
『酔いどれ小籾次』(仮題)
出演/竹中直人、津川雅彦ほか

出版社からのお知らせ